

奈良の今後5カ年(平成21年度～平成25年度)の道づくり重点戦略 ＜ 概要 ＞

1 策定の趣旨

奈良県では京奈和自動車道などの県土の骨格となる幹線道路の整備は未だ道半ばであり、渋滞・交通事故・道路災害など多くの課題が残されています。このような道路整備の遅れが、計画的なまちづくりや企業立地による地域の活性化にも重大な支障を及ぼしつつあります。

今後、より一層の厳しい財政運営を余儀なくされる中、県民ニーズの多様化などの社会的なニーズに的確に対応していく必要があります。

このため、平成21年度から平成25年度の5カ年に重点的に取り組む施策と道路行政の進め方の改革を重点戦略として取りまとめ、県民の皆様のご理解とご協力を賜りながら、本戦略に基づき道路整備や管理を計画的に行うことにより、より魅力と活力ある地域づくりや道路サービスの一層の向上を図って参りたいと考えます。

なお、本戦略については、今後の財政状況や社会状況の変化等により、適宜見直しを行っていく予定です。

2 重点戦略において取り組む施策

1) 奈良県の活力を牽引する幹線道路ネットワークの形成

①京奈和自動車道のアクセス道路の供用目標の宣言

京奈和自動車道の早期供用を国等に働きかけるとともに、主なアクセス道路の供用目標を宣言

〔 供用目標宣言路線 〕

- | | |
|---------|----------------------------------|
| 県北西部 | → 枚方大和郡山線等の整備推進。石木工区は平成21年度供用。 |
| 香芝・桜井方面 | → 中和幹線下田工区は平成23年度供用。 |
| | → 中和幹線桜井東工区は平成22年度供用。 |
| | → 国道165号脇本道路は平成24年度供用。 |
| 吉野方面 | → 国道169号高取バイパスの整備推進。一部は平成23年度供用。 |
| 土津川方面 | → 国道168号等の整備推進。川津道路の一部は平成22年度供用。 |

〔 アクセス道路の供用目標の宣言にあたり、県が想定している京奈和自動車道の進捗 〕

- | | |
|---|---------------------|
| 大和御所道路大和区間
(仮)大和郡山JCT | → 平成25年度供用を目指し整備促進。 |
| 大和御所道路御所区間 ※2車線
(仮)橿原・大和高田IC～(仮)橿原南・御所IC | → 平成23年度供用を目指し整備促進。 |
| (仮)橿原南・御所IC～(仮)御所南IC | → 平成26年度供用を目指し整備促進。 |
| (仮)御所南IC～五條北IC | → 平成28年度供用を目指し整備促進。 |
| 大和北道路
国により早期に事業化し、(仮)大和郡山JCT～(仮)奈良IC間を先行区間として整備促進。 | |

②重点的な整備箇所の宣言

県内外の交流を促進し、活力ある奈良県づくりを進めていく上で重要な役割を担う幹線道路ネットワークの早期形成を目指し、重点整備を行う箇所を宣言

- ア) 県土を縦断するものの、災害に脆弱であるにも関わらず、迂回路もなく、自動車同士のすれ違いが困難な箇所があり、安全・安心な交通機能の確保を図る上で信頼性に課題のある幹線道路
- イ) 地域の雇用に大きく寄与する企業と自動車専用道路を結ぶアクセス道路やスマートインターチェンジ
- ウ) 急速な市街化の進行等により、自動車交通需要が交通容量以上に増加した幹線道路
- エ) 踏切等の存在により著しい渋滞が発生しているボトルネック箇所

2) 地域の活性化を促進する道路整備の推進

①経済活性化のための企業立地を支援する道路整備の推進

企業立地の促進による地域経済の活性化を支援する道路整備を推進

②県や市町村が策定する観光振興のための計画を支援する道路整備の推進

観光振興による地域の活性化に計画的かつ積極的に取り組む市町村を支援するため、県や市町村が策定する計画を支援する道路整備を推進

③農林業の活性化を支援する道路整備の推進

奈良の農林資源を活かした農林業の振興、農山村地域の活性化を支援する農林道整備を推進

3) 便利で快適な生活を支える道路サービスの提供

①客観的データや道路利用者の意見を踏まえた優先整備箇所の選定による効果的な渋滞対策の推進

客観的なデータや道路利用者の意見等を加味して優先整備箇所を選定するプロセスを導入し、「(仮称)奈良県渋滞解消見える化プラン」を策定、公表、計画的に実施

②パークアンドライド等の推進による適切な自動車利用の促進

特定の時期あるいは地域において課題となっている渋滞緩和のため、パークアンドライド等を推進

③バス等公共交通機関の利便性向上のための取組みの推進

地域住民の移動手段を確保するため、既存の路線バスの利便性の向上や、特に中山間地域においてコミュニティバス等によるネットワーク整備等、公共交通機関の利用促進計画を策定

4) 安全で安心な暮らしを提供する道路サービスの提供

①客観的データや県民の意見を踏まえた優先整備箇所の選定による効果的な交通安全対策の推進

交通事故データや県民等からの意見等を加味して優先整備箇所を選定するプロセスを導入し、「(仮称)奈良県交通安全対策見える化プラン」を策定、公表、計画的に実施

②『早期発見・早期対策』による緊急輸送道路等の安全性の向上

○ 防災対策

精度の高い地形図による地すべり等危険箇所の把握、緊急輸送道路の確保、集落の孤立化等の観点や学識経験者の意見を参考に「(仮称)道路防災実施計画」を策定、公表、計画的に実施

○ 橋梁の維持修繕・耐震対策

個別箇所の劣化状況や安全性に加え、広域的支援活動や緊急物資の輸送に必要なネットワークを確保する観点や学識経験者の意見を参考に「(仮称)橋梁長寿命化修繕計画」を策定、公表、計画的に実施

③都市部や中山間地域において、市町村が策定するまちづくりや地域づくり計画を支援する道路整備

地域住民の生活の質の向上に計画的かつ積極的に取り組む市町村を支援するため、市町村が策定する計画を支援する道路整備を推進

5) 快適に“なら”を楽しめる質の高い道路サービスの提供

①わかりやすさを重視した案内板や標識の整備

本県を訪れる多くの観光客が、目的地まで迷わずに到達でき、快適に観光することができるよう、わかりやすい案内板や標識を整備

②景観に配慮した道路整備や沿道景観の形成

周辺環境と調和する道路構造物の採用等を推進

世界遺産にアプローチする幹線道路等は、道路の適切な管理、沿道の建築物や広告物等の規制誘導とあわせて、良好な沿道景観の形成を推進

③「道の駅」における地域の情報提供の強化

地域の特産品を提供する直売所の充実などによる「道の駅」のサービス強化、地域の情報等の幅広い発信や「道の駅」相互の連携強化

④健康的で快適な暮らしを支え、自然や歴史環境との交流を促す歩行者・自転車空間の形成

自然や歴史環境とのふれあいや観光地での周遊環境を改善するとともに、歩くことや自転車利用を通じた健康づくりを支援するため、質の高い歩行者・自転車空間の形成を推進

3 道路行政の進め方の改革

1) 『選択と集中』による効率的・効果的な事業展開

経済活性化、効率的・効果的な地域づくりや道路サービスの向上を目指した『選択と集中』

- ①地域間の競争力を強化し、企業誘致や観光振興による地域の活性化を図るため、京奈和自動車道を軸とする「供用目標宣言路線」や「重点整備宣言箇所」への選択と集中
- ②道路利用によって生じる課題を解決するための施策については、客観的データを重視した上で、利用者の視点も加味し、課題の大きい箇所への選択と集中
- ③中山間地域において、災害に脆弱であるにも関わらず、迂回路もなく、自動車同士のすれ違いが困難な箇所があり、安全・安心なアクセス機能の確保を図る上で信頼性に課題がある箇所の早期解消に向けた選択と集中

2) 透明性の確保・県民とのコミュニケーションの強化

県民の皆様のご理解とご協力を得ながら事業を進めていくため、自動車交通によって生じる課題を県民等と共有するなど、透明性の確保や県民等とのコミュニケーションの強化

- ①渋滞・交通安全対策について、客観的なデータに加え県民等の意見を加味して優先整備箇所を選定し、効果が地域ニーズと乖離していないかを問いかけ等により確認
- ②県民との協働による快適な道路空間の維持向上を通じた魅力あるまちづくりを進めるため、美化活動等へのボランティア参加のさらなる呼びかけ

3) コスト縮減を徹底するための取組みの強化

地域のニーズから求められるサービスレベルや自然条件、計画・設計段階から、維持・管理・更新段階に至るトータルコストなど、総合的なコスト縮減を徹底するための取組みの強化

- ①高度経済成長時代に建設した橋梁が急速に老朽化するため、事後保全から予防保全への転換による橋梁の長寿命化・トータルコストの縮減
- ②地域の状況や道路の利用実態に応じて、全線を2車線整備するのではなく、1車線整備と待避所設置等を組み合わせた1.5車線的道路整備の積極的な推進

4) ソフト施策や工夫改良の取組みの強化

ハード整備だけでは課題に十分に対応できない場合が発生しているため、県民や道路利用者への影響を出来るだけ減らし、道路サービスの向上を図るため、ソフト施策などの取組みの強化

- ①渋滞エリア周辺にパークアンドライド駐車場を設置し、渋滞エリアへの流入を抑制するパークアンドライド施策
- ②地域固有の事情に応じたきめ細やかな路上工事の集約・抑制や路上工事による通行規制情報の周知
- ③道路側溝の蓋掛けや歩道の段差解消による歩行者の安全性の向上など、極力用地買収せずに道路の機能改善を図る工夫改良